

土佐の南国ルネサンス構想

9

1

元氣・やる気・本気の語が一々

八三(䷞) 適

卷之三

元来様の三本柱の一
つである「まちが煙（あいり）
めく産業元気都市。」は、この
んなまちづくりをめざして、

市展大盛況の声を聞き、喜んでいたところ、
たこのレーヴ(櫻町)これもまた「芸術?」。

擁壁の表部分に直接、型枠を組み込んだもの。型枠を撤とでもいえばいいのだろうか。とにかく見事なできばえは、芸術の秋にふさわしいもので

パンダ、クジラ、オナガドリについて、国分寺、鳥居桟、ジェット機ヒソツツの木。さらには、おらがまちの電車などがちりばめられている。

ソフトボールができる施設をと建設されたものですが、なんの変哲もないコンクリート製の擁壁が多い中で、ユニークな発想です。

岡辺は（仮称）長岡西運動公園として、整備の最中だが、やがてこれらの施設が完成すると、スポーツと芸術の集積したレジャーゾーンとして、市民が集う憩いの場所となるでしょう。

● 来場の三本柱の一つである「まちが煙（きら）めく産業元気都市。とは、どんなまちづくりをめざしていますか。

です。これを最大限に生かさない手はありません。
基盤整備をすることによつて「元気のあるまち」を再生していく」というわけです。そして、「誰もが住みたい、働きたい」と思える魅力とにぎわいのある「産業元気都市」をめざしています。

本市は、農地の基盤整備、とりわけ「ほ場整備」が大変遅れています。これまでの牛馬や人力による農作業のときは、「一反（十石）」単位の農地が最適でした。ところが大型機械化が進んできた現在では五反とか、一町歩単位のほ

レベルアップすることによりて若者の県外・市外への流出を阻止しよう」ということですね。



珍型クリーニング



同和教育
シリーズ

同和教育
シリーズ

「私は子供のころ、家族や周囲の人から『えたのするようなことをするものではない』『悪い子はえにやる』などと言われました。私たちの年代、ゆがめられて教えられてきました。そのため、部落の人は人種が違う、こわい人という印象を植えつけられたのです。それが人が人を差別

「うるー」とたまは知るよーもあ
りませんでした。正しい知識
がないのに、正しい判断がで
きるのは手はありません。これ
はとても恐ろしいことです。
「新幹線」とか「えなこ」
などいうことは近づくは知ら
ない子供も
が多いので
はないか。
時がたてば
自然にわからなくなるのに、
寝た子を起こすようなことは
しない方がよい」と言う人が
います。かつては私もその中
の一人でした。私は同和地区
に友人がおられます。その友人

を差別したい」とは「ない」と思つていきましたが、そう思つことがまちがつているのだと知りました。無意識のうちに差別して、友人を傷つけていたことがあります。」（以下略）

二、六十歳になつて学んだ同和問題

「昭和初期に生まれた私は部落問題の系統だった内容については無知にして、一種のタブーとして触れることをさけてきた。今回の講座を受講して、被差別部落が形成された原因が、支配者の都合のよい構造的な背景にあると知り

大きなショックを受け、それ以後も、自分を含めた人間の永い間に培われてきた習慣の根強さに驚きの連続であつた。過去はとにかく、現在は部族差別などとなりつづあらずと軽い気持ちで受けとめていたが、実態はそんな生々しい問題ではなく、同和問題解決はこれからが本番と思えてきた。解決の方法として、行政教育の面から、根気よく、長期に渡つて、諸施策を実施していくつもりだが、何と云つても各個人個人の意識の改革が必要だと思う。『そつとしておには差別など、いつ

かは消滅していく」とか。「同和地区はいろいろ改善され他の過疎地区よりもずっと良くなっているのではないか」などなど、現実が誤解されている点が多い。例えば「同和地区に適用されている特別措置法なども时限立法であるし、条例的には確かに過示と比較して大きく改善されていることを現地学習で知ったが、内容の充実はこれからであるう。(以下略)」

お二人の感想文からもわかるように、同和教育推進講座を受講する前と、受講後とではずいぶん同和問題に関する意識が変わっています。

●いま部落は、そして……。

を図る」としています。
そのためには、後免町を中心とした都市機能を整備すると共に、時代の変化や消費老ニーズにも対応できる商業施設の集積が求められています。

交通関係は、先にも述べたとおり、高知空港の整備、四国横断自動車道の延伸、市計画道路の高知・南国線、高知新港など、大型プロジェクトが目白押しです。

交通機関と南国オフィスパークを物流基地などとのアタマース道路の整備など、ネットワーク強化が求められていますね。



町、市、市町、南国南部（浜改田、前浜）、国分など、四百九十七ヶ所を計画しています。▼ 県の総合計画では高知市と南国市を中心とした都市と位置づけていますね。